■支部だより■

中国・四国支部　（島根県）

今回は，新型インフルエンザ対応のため，５月の予定を延期して８月に開催した支部会議の状況等を報告します。

1. 平成 21 年度中国・四国支部会議

（担当機関：鳥取県衛生環境研究所）

平成21年８月４，５日に米子市において，全体会議と所長・企画部会，大気環境部会，水環境部会(衛生部門～微生物部会，理化学部会)を開催しました。

⑴　全体会議

・多年，業務の推進に顕著な功績のあった６氏(鳥取県門木秀幸／岡山県山本淳／広島県山本竜治／山口県長田健太郎／徳島県高島京子／香川県多田薫の各氏)に対し支部長表彰を行った。

・支部長報告(活動報告，事業計画等)を行い，質疑ののち承認された。

⑵　部　会

・所長／企画部会；科学研究費補助金の交付制度見直し要望(受入方法)，各所でのコスト削減策，酸性雨調査への積極参加などについての協議と情報交換。

・大気環境部会；PM2.5のモニタリング試行状況や航空機騒音新環境基準への対応状況などについての情報交換。

なお，前日新聞報道があった風力発電施設からの低周波音影響に関しては，愛媛県が国の委託調査で本年度８月，１月に実施予定。

・水環境部会；測定機器(ICP／MS，CHN コーダ)，測定方法(塩ビモノマー等，非イオン界面活性剤，溜池 pH，共存塩の多い試料の重金属など)，民間機関の精度管理，EM 菌の水質浄化効果などについて情報交換。

⑶　特別講演

・二日目には「循環型社会と廃棄物マネジメント」と題して，鳥取環境大学田中勝教授から，一般廃棄物処理の現状と課題，今後の方向性について，超広域処理，バイオマスや産業廃棄物併用の高効率廃棄物発電など，示唆に富む御講演を頂いた。

2. 平成 21 年度環境測定分析統一精度管理中国・四国支部ブロック会議

（担当機関：岡山県環境保健センター）

平成21年８月５日に岡山国際交流センターにおいて開催され，検討委員２名，環境省１名，日本環境衛生センター１名を迎えて，会員機関の分析担当者等22名が参加しました。

○議事

・環境測定分析統一精度管理調査について(環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室　高橋室長補佐)

・平成20年度環境測定分析統一精度管理調査結果について(日本環境衛生センター東日本支局環境科学部環境対策課　西尾課長)

○講演「環境測定分析における土壌・底質中のフタル酸エステル等有機化合物測定について」(国立医薬品食品衛生研究所環境衛生化学部西村部長)

○ディスカッション

・調査結果及び分析機関の取組，今後の課題等について

助言者／西村部長，田尾部門長(産業技術総合研究所環境管理技術部門)高橋室長補佐，西尾課長

3. C 型共同研究「光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究」グループ会議

(1) 平成 20 年度第 2 回中国四国グループ会議

平成21年１月28～29日に愛媛県立衛生環境研究所において，中国四国支部会員(９自治体)が参加しグループ会議を開催しました。

・各自治体が光化学オキシダント(Ox)／浮遊粒

子状物質(SPM)の変動特性や他の大気汚染物質との関係等を解析した結果について報告を行い，その後，中国四国地域全体のとりまとめの方向性について討議。

・夜間高濃度Ox対応状況調査について，追加調査の内容，調査全体のまとめの方向性について討議。

・2007，2008年度の中国四国地域における高濃度Ox／SPM事象解析について，データ抽出／解析状況について各県報告を行い，とりまとめにあたり今後の方向性について討議。

・Oxに関する最近の研究進捗状況について，発表および意見交換。

(2) 平成21年度第1回中国四国グループ・九州グループ拡大グループ会議

平成21年8月25～26日に福岡市市民福祉プラザにおいて，中国四国支部会員(9自治体)および九州支部会員(11自治体)が参加しグループ会議を開催しました。

・中国四国地域および九州地域で観測された光化学オキシダント(Ox)および浮遊粒子状物質(SPM)高濃度事象に関する解析を行うため，今後の解析の進め方等について協議。

・OxやPM2.5等に関する最近の研究進捗状況について，発表および意見交換。

・第50回大気環境学会年会における研究発表(4題)について，中間報告および意見交換。

・地域グループに分かれ，各グループの課題について協議。

中国四国グループは，夜間高濃度Ox対応状況調査のとりまとめ，中国四国地域における高濃度Ox／SPM事象の解析など。

H.21.10.13

支部事務局(島根県保健環境科学研究所)橘記

北海道・東北支部

今年度から支部長及び事務局を山形県環境科学研究センターが引き受けることとなりました。現在までの活動状況及び今後の予定を報告します。

1. 平成21年度全国環境研協議会北海道・東北支部総会（担当機関：宮城県保健環境センター）

(1) 期日　平成21年5月27日(水)～28日(木)

(2) 場所　ホテル白萩(仙台市)

(3) 参加者　13機関，28名

(4) 議事

①平成20年度事業報告及び収支決算報告

②平成21年度事業計画及び収支予算案

③役員改正

(5) 報告

平成21年度全国環境研協議会第1回理事会の概要について

(6) 提案・情報交換事項

あらかじめ各機関から提出された10題の提案・情報交換事項について討議を行いました。

(7) 北海道・東北支部長表彰

調査・研究等の業務の推進に長年功績のあった次の7名の方の表彰を行いました。

北海道環境科学研究センター	高橋　英明氏
岩手県環境保健研究センター	畠山えり子氏
宮城県保健環境センター	佐々木俊行氏
山形県環境科学研究センター	五十嵐　繁氏
新潟県保健環境科学研究所	加藤　健二氏
札幌市衛生研究所	立野　英嗣氏
新潟市衛生環境研究所	向井　敏子氏

(8) 環境負荷低減取り組み実施企業視察

ESCO事業の活用などにより先進的な環境負荷低減を行っている企業を訪問し，取り組み内容についての説明を受け，有意義な情報を収集することができました。

■ 支 部 だ よ り ■

2. 平成21年度環境測定分析統一精度管理北海道・東北支部ブロック会議

（担当機関：青森県環境保健センター）

⑴ 期日　平成21年７月15日（水）

⑵ 場所　仙台市青葉区中央市民センター

⑶ 参加者　29名（検討委員，環境省，㈶日本環境衛生センターを含む。）

⑷ 調査内容及び結果の報告（環境省，㈶日本環境衛生センター）

⑸ 特別講演

『環境測定分析における土壌・底質中のフタル酸エステル等有機化合物測定について』

講師：環境庁環境調査研修所　四ノ宮美保氏

⑹ ディスカッション

調査結果等について質疑応答を行いました。

3. 第35回全国環境研協議会北海道・東北支部研究連絡会議

（担当機関：山形県環境科学研究センター）

⑴ 期日　平成21年10月１日（木）～２日（金）

⑵ 場所　山形テルサ（山形市）

⑶ 参加者　13機関，37名

⑷ 共通課題討論会

①第１分科会（大気，大気汚染常時監視関係）

PM2.5，光化学オキシダント及び航空機騒音に係る評価指標に関して意見交換を行いました。

②第２分科会（水質，化学物質関係）

アスベストの分析方法及び河川等の水質事故対応に関して意見交換を行いました。

⑸ 一般研究発表

第１分科会と第２分科会に分かれて11題の研究発表を行いました。

⑹ 全体会議

参加者全員が出席して，各分科会の報告，次年度の共通課題テーマ及び今後の研究連絡会議のあり方について意見交換を行いました。

4. 平成21年度北海道・東北支部酸性雨調査研究専門部会（予定）

（担当機関：新潟県保健環境科学研究所）

⑴ 期日　平成22年１月下旬

⑵ 場所　新潟市内